

呉工業高等専門学校		開講年度	令和03年度（2021年度）		授業科目	特別一般講義（先端科学実習Ⅰ）
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	特別一般講義・特別専門講義		対象学年	1		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	なし					
担当教員	笠井 聖二					
到達目標						
選択した先端科学の概要を知り、それを説明できる。 選択した先端科学の内容に関する実習ができる。 選択した先端科学に関する内容を、他の学生に説明・報告できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	受講するスクールの内容の調査・選択が適切にできる。		受講するスクールの内容の調査・選択ができる。		受講するスクールの内容の調査・選択ができない。	
評価項目2	受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することが適切にできる。		受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することができる。		受講するスクールの先端科学の実習内容を理解し遂行することができない。	
評価項目3	受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を適切に報告・発表できる。		受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を報告・発表できる。		受講したスクールの先端科学の内容に関する実習内容を適切に報告・発表できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	先端科学の概要を知り、その理解を深めるとともに、先端科学と社会や専門分野との関係を考え、広い視野で自主的に活動できるようにする能力を育成する。					
授業の進め方・方法	・先端科学関連の研究所等が実施するスクールに参加する。期間は、4日程度（17時間程度の実習・レクチャーなど）を基本とする。 ・物理チャレンジ2次合宿のような、科学に対する秀でた才能を伸ばす合宿も含む					
注意点	・対象学年は1年から3年とし、この間に1単位のみを認める。 ・単位認定に該当するスクールかどうかを、事前に担当教員に確認すること ※参考 KEKウィンター・サイエンスキャンプ 2018 (https://www.kek.jp/ja/Education/HighSchool/ScienceCamp/) ・1つのスクールで授業時間が不足する場合には、スクール前の準備学習やスクール後の報告などの時間を増やすことで対応できる場合があるので、担当教員に事前に相談すること。また、複数のスクールで授業時間を確保することも認める。 ・安全に留意し学生としての自覚をもった行動をすること。受け入れ機関の指導に従うこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	スクールの選定		スクール及びその内容を調べる	
		2週	活動準備		スクールで活発に活動できるように、先端科学・スクールの内容を調べ準備する	
		3週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		4週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		5週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		6週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		7週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		8週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
	2ndQ	9週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		10週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		11週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		12週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		13週	スクールでの実習		スクールに参加し、実習をおこなう	
		14週	報告書作成		報告書の作成・報告発表の準備をおこなう	
		15週	報告		報告発表をおこない、報告書を提出する	
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	スクールでの評価		報告書	発表	合計
総合評価割合	60		20	20	100
実習全体	60		20	20	100